

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 2 月 12 日 (2016.2.12)

【公表番号】特表 2013-537901 (P2013-537901A)

【公表日】平成 25 年 10 月 7 日 (2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報 2013-055

【出願番号】特願 2013-529758 (P2013-529758)

【国際特許分類】

C 07 D 413/06 (2006.01)

A 61 K 47/22 (2006.01)

A 61 P 1/08 (2006.01)

A 61 P 25/18 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 25/04 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 17/04 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 39/02 (2006.01)

A 61 K 31/5377 (2006.01)

【F I】

C 07 D 413/06 C S P

A 61 K 47/22

A 61 P 1/08

A 61 P 25/18

A 61 P 29/00

A 61 P 25/04

A 61 P 35/00

A 61 P 17/00

A 61 P 17/04

A 61 P 11/00

A 61 P 39/02

A 61 K 31/5377

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 18 日 (2015.12.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン H<sub>2</sub>O 共結晶。

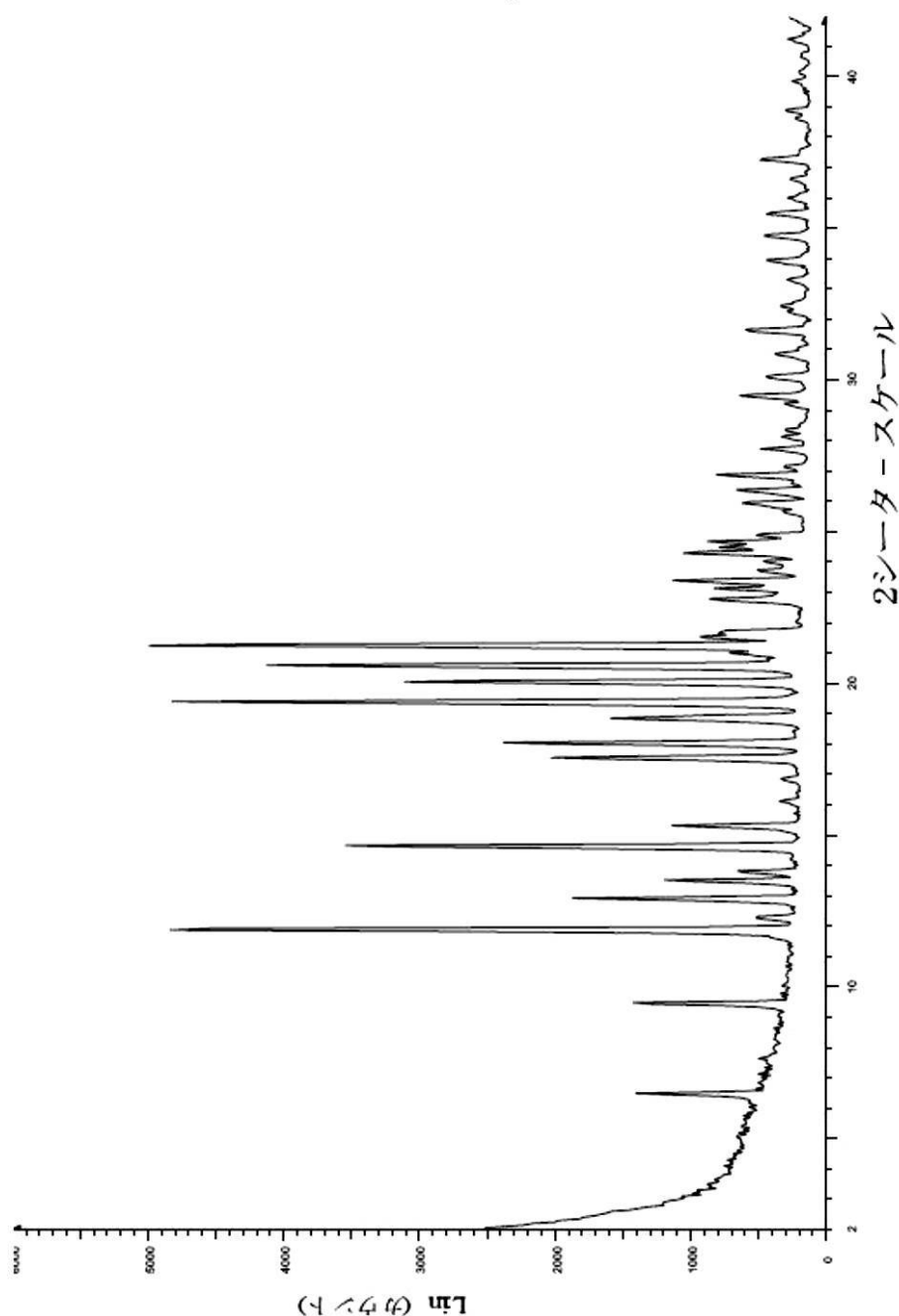
【請求項 2】

以下の少なくとも 1 つを特徴とする 1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン H<sub>2</sub>O 共結晶：

6 . 4、9 . 4、11 . 9、12 . 9、14 . 6、および 18 . 8 (° 2 ± 0 . 2 ° 2 ) から選択される少なくとも 3 つのピークを有する粉末 X 線回折パターン；

図 1

【化 1】

1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン H<sub>2</sub>O 共結晶の XRPD パターン

に類似した粉末 X 線回折パターン；

294 K の温度での  $P2_12_12_1$  空間群；または

294 K の温度での  $a = 9.1963(4)$ 、 $b = 12.8332(9)$ 、 $c = 27.4289(19)$ 、 $\alpha = 90^\circ$ 、 $\beta = 90^\circ$ 、および  $\gamma = 90^\circ$  の単位格子寸法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 の 1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン H<sub>2</sub>O 共結晶および薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 4】

治療有効量の請求項 1 または 2 の 1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン H<sub>2</sub>O 共結晶を含む、嘔吐に関連する傷害、神経精神病、炎症性疾患、疼痛、癌、皮膚疾患、掻痒、呼

吸器疾患、または中毒を処置または予防するための医薬。

【請求項 5】

嘔吐に関連する傷害、神経精神病、炎症性疾患、疼痛、癌、皮膚疾患、掻痒、呼吸器疾患、または中毒を処置または予防するための請求項 3 の医薬組成物。

【請求項 6】

1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン水和物。

【請求項 7】

請求項 6 の 1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン水和物および薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 8】

治療有効量の請求項 6 の 1 : 1 : 1 アプレピタント L - プロリン水和物を含む、嘔吐に関連する傷害、神経精神病、炎症性疾患、疼痛、癌、皮膚疾患、掻痒、呼吸器疾患、または中毒を処置または予防するための医薬。

【請求項 9】

嘔吐に関連する傷害、神経精神病、炎症性疾患、疼痛、癌、皮膚疾患、掻痒、呼吸器疾患、または中毒を処置または予防するための請求項 7 の医薬組成物。